

第 57 期
中 間 報 告 書

(平成28年 4 月 1 日から)
(平成28年 9 月 30 日まで)

fligan

愛眼株式会社

証券コード 9854

株主の皆様へ

株主の皆様には、日ごろより格別のご支援を賜り誠にありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、当社は平成28年9月30日をもって第57期第2四半期連結累計期間（平成28年4月1日から平成28年9月30日まで）を終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境に改善が見られるものの、内外の金融・経済情勢の不確実性の高まり、内外需の低迷や円高などを背景に、国内景気は依然として先行き不透明な状況が続いております。また、家計部門における可処分所得の伸び悩みや将来の負担増に対する防衛意識の高まりにより、個人消費は足踏み状態で推移いたしました。眼鏡小売市場は、消費者の節約志向の高まりから消費マインドの低迷が続くなか、企業間競争の激化と相まって、厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと当社グループは、当期を将来に向けた成長基盤を構築する事業年度として位置づけ、営業体制の整備や顧客層の見直しに取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、主に眼鏡小売事業における低価格帯商品の販売数の伸び悩み等により、売上高は8,361百万円（前年同四半期比4.1%減）と前年同期を下回る結果となり、売上総利益率は0.6%減少しました。また、販売費及び一般管理費の節減に努めましたが、各種広告媒体の利用に伴う広告宣伝費や既存店の活性化投資などが増加しました。また、保有する固定資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、資産の将来の回収可能性を検討した結果、減損損失232百万円を特別損失として計上いたしました。この結果、営業利益は33百万円（前年同四半期比86.4%減）、経常利益は69百万円（前年同四半期比77.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失は215百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益202百万円）となりました。今後とも売上増進と経費コントロールに取り組み、収益基盤の改善を図ってまいります。

当社グループにおける報告セグメントごとの状況は次のとおりです。

【眼鏡小売事業】

当社グループの中核事業である国内眼鏡小売事業につきましては、「NEW愛眼プロジェクト」で築き上げたヤング・ニューファミリー層の営業基盤の維持を図りながら、ミドル・シニア層への接遇の強化を併行して進めております。個人のライフスタイルや価値観の変化に伴い趣味・スポーツ熱や健康意識の高まりなどの社会変化に対応し、特に、ミドル・シニア層に対しては、眼鏡専門店として

自信をもって提供してきた「視力補正技術」をアピールしながら、材質・機能・デザインなどコストパフォーマンスに優れた商品の品揃えの拡充と接客サービス面の強化など様々な施策に取り組んでまいりました。

商品に関しては、「目の健康」をテーマとした快適で機能的な高付加価値商品を新たに開発し、お客様にとって安心でお買い得な商品の充実に努め、幅広い年齢層の多様なニーズに対応してまいりました。

売上高に関しては、眼鏡の品揃えの充実、丁寧なアドバイスや接客の推進によって販売単価が回復しつつありますが、低価格帯商品の販売数が伸び悩んだことや、前期及び当期に実施した店舗閉鎖による売上減少の影響があり、減収となりました。品種別では、サングラスが、品揃えの充実とそれに沿った販促の強化により、売上高は堅調に推移しました。また、補聴器の売上高は、前年同期の大幅な伸長の影響で、前年同期比では伸び悩みましたが、お客様の満足度向上を目指しアフターサービスのさらなる強化と認知度の向上に取り組んでまいります。

店舗に関しては、2店舗を出店、10店舗を閉店し、10店舗で改装を実施しました。

この結果、眼鏡小売事業における売上高は7,944百万円（前年同四半期比4.2%減）、セグメント利益は103百万円（前年同四半期比63.4%減）となりました。

【写真館事業】

直営の写真館（名称：愛写館）3店舗を営む写真館事業は、幅広い年代のお客様の記念写真・家族写真の撮影やアルバム制作をはじめ、美容着付け、衣装レンタルなどにも対応する総合写真館をコンセプトに、子供写真はもとより成人式振袖記念写真など大人の撮影メニューも豊富に揃え、写真データの購入も可能となるなどお客様の満足度向上を図っております。当期においては、成人式振袖着物レンタルメニューを充実させるため、ローラブランド振袖に加え、藤田ニコルブランド振袖などを新たに導入し集客拡大に努めました。

この結果、写真館事業における売上高は55百万円（前年同四半期比4.9%増）、セグメント損失は23百万円（前年同四半期はセグメント損失19百万円）となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご厚情を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成28年12月

代表取締役社長 下 條 三千夫

企業集団の財産及び損益の状況

区 分	第54期 (平成26年3月期)	第55期 (平成27年3月期)	第56期 (平成28年3月期)	第57期(中間) (当連結結果計期間) (平成29年3月期)
売 上 高(百万円)	16,996	15,988	16,563	8,361
経 常 利 益 又 は 経 常 損 失(△)(百万円)	△ 198	△ 341	210	69
親会社株主に帰属する 当期純利益又は親会社 株主に帰属する四半期 (当期)純損失(△)(百万円)	△ 454	△1,237	43	△ 215
1株当たり当期純利益又は1株 当たり四半期(当期)純損失(△)(円)	△23.43	△63.76	2.24	△11.09
総 資 産(百万円)	18,568	17,429	17,334	16,887
純 資 産(百万円)	15,596	14,436	14,438	14,120
1株当たり純資産額(円)	803.56	743.78	743.90	727.51

株式の状況 (平成28年9月30日現在)

- | | |
|-------------------|-------------|
| (1) 発行可能株式総数 | 60,000,000株 |
| (2) 発行済株式の総数 | 21,076,154株 |
| (3) 株 主 数 | 23,320名 |
| (4) 大 株 主 (上位10名) | |

株 主 名	持 株 数	持 株 比 率
有 限 会 社 佐 々 興 産	2,138 千株	11.02 %
愛 眼 従 業 員 持 株 会	1,115	5.75
愛 眼 共 栄 会	885	4.56
佐 々 栄 治	665	3.43
株 式 会 社 瑞	635	3.27
佐 々 善 二 郎	443	2.29
佐 々 千 恵 子	442	2.28
下 條 千 一	328	1.69
セイコーオブティカルプロダクツ 株 式 会 社	298	1.54
佐 々 昌 俊	273	1.41

- (注) 1. 持株比率は、自己株式(1,667千株)を控除して計算しております。
2. 下條千一氏は、平成28年7月10日に逝去されましたが、平成28年9月30日現在、名義変更手続が未了のため、株主名簿上の名義に基づき記載しております。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前期末 (H28. 3. 31現在)	当第2四半期末 (H28. 9. 30現在)	科 目	前期末 (H28. 3. 31現在)	当第2四半期末 (H28. 9. 30現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	8,035	7,753	流動負債	1,742	1,923
現金及び預金	4,749	4,536	支払手形及び買掛金	494	496
受取手形及び売掛金	760	682	1年内返済予定 の長期借入金	60	255
商品及び製品	2,261	2,243	未払法人税等	148	117
原材料及び貯蔵品	24	35	賞与引当金	54	62
その他	243	260	その他	986	992
貸倒引当金	△ 5	△ 5	固定負債	1,153	843
固定資産	9,299	9,133	長期借入金	225	—
有形固定資産	3,128	3,070	繰延税金負債	52	34
建物及び構築物	1,062	1,065	再評価に係る 繰延税金負債	6	6
土地	1,900	1,887	資産除去債務	339	333
リース資産	81	42	リース債務	359	299
その他	84	74	その他	171	169
無形固定資産	169	79	負債合計	2,896	2,767
リース資産	138	63	純資産の部		
その他	31	16	株主資本	16,745	16,491
投資その他の資産	6,000	5,983	資本金	5,478	5,478
投資有価証券	1,607	1,741	資本剰余金	6,962	6,962
敷金及び保証金	3,715	3,574	利益剰余金	5,356	5,101
その他	677	667	自己株式	△1,050	△1,050
資産合計	17,334	16,887	その他の包括利益累計額	△2,307	△2,371
			その他有価証券評価差額金	124	78
			土地再評価差額金	△2,471	△2,471
			為替換算調整勘定	39	21
			純資産合計	14,438	14,120
			負債純資産合計	17,334	16,887

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前第 2 四半期(累計) (H27. 4. 1～H27. 9. 30)	当第 2 四半期(累計) (H28. 4. 1～H28. 9. 30)
売上高	8,716	8,361
売上原価	2,712	2,649
売上総利益	6,004	5,711
販売費及び一般管理費	5,754	5,677
営業利益	249	33
営業外収益	83	76
営業外費用	27	41
経常利益	305	69
特別利益	4	—
特別損失	28	234
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	281	△164
法人税、住民税及び事業税	79	48
法人税等調整額	△0	2
法人税等合計	78	50
四半期純利益又は四半期純損失(△)	202	△215
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	202	△215

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第 2 四半期(累計) (H27. 4. 1～H27. 9. 30)	当第 2 四半期(累計) (H28. 4. 1～H28. 9. 30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	609	194
投資活動によるキャッシュ・フロー	△50	△259
財務活動によるキャッシュ・フロー	△74	△127
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	484	△195
現金及び現金同等物の期首残高	1,902	1,975
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,387	1,780

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概況 (平成28年9月30日現在)

商号	愛眼株式会社
本社	大阪市天王寺区大道四丁目9番12号
設立	昭和36年1月11日
資本金	5,478百万円
主要な事業内容	当社グループは、眼鏡・サングラスその他関連商品を取り扱う眼鏡専門店チェーンと写真館を展開しております。
従業員数	765名 (ほか平均臨時従業員数447名)
店舗数	眼鏡店 245店舗 写真館 3店舗
連結子会社	2社

役員 (平成28年9月30日現在)

取締役会長	佐々栄治
代表取締役社長	下條三千夫
取締役	菅野忠司
取締役	下條謙二
取締役	佐々昌俊
取締役	森重洋一
常勤監査役	叶雅文
監査役	吉岡一彦
監査役	山田吉隆

- (注) 1. 森重洋一氏は、社外取締役であります。
2. 吉岡一彦及び山田吉隆の両氏は、社外監査役であります。

株主優待

3月31日及び9月30日現在、当社の株式を次のとおりご所有の株主様に対し、株主優待割引券を贈呈します。

[メガネ]	・100株以上500株未満ご所有	30%割引券1枚
	・500株以上ご所有	30%割引券2枚
	(但し、特別限定品は20%割引)	
[補聴器]	・100株以上ご所有	10%割引券1枚
	(但し、特別限定品は除く)	

株 主 メ モ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 (1)定時株主総会・期末配当 3月31日
(2)中間配当 9月30日
その他必要あるときは、あらかじめ公告して
基準日を定めます。

単元株式数 100株
株主名簿管理人及び 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031
(インターネット [http://www.smtb.jp/personal/agency/
ホームページURL](http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html)) index.html
公告の方法 電子公告
但し、事故その他やむを得ない事由によって
電子公告による公告をすることができない場
合は、日本経済新聞に掲載して行う。

上場証券取引所 東京 市場第一部

<ご注意>

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

ホームページアドレス <http://www.aigan.co.jp>